

ごあいさつ 風の軌跡—「交差する風・織りなす場」に寄せて

文化庁のモデル事業(美術館・歴史博物館活動基盤整備支援事業)として実施してきましたこの事業も、今年度が3年目となります。初年度が《LINK! ミュージアムからアート^の風を!!》、2年目が《SMFアートのわっ! あつまれアートのつむじ風》、今回が《交差する風・織りなす場—SMFアート楽座・アートバンク2010》という事業名で開催しました。「風」がキーワードとなっていますが、これは(風車プロジェクト)からこの事業がスタートしたことに因んでいます。「アートの風」のシンボルとなる美しい風車をみなさんと一緒に作り、数千本にもなった風車を公園やミュージアムの庭に多くの方々と協働で並べ、出現した夢のような空間で創作ダンスなど多彩なアートプログラムを楽しむものでした。「SMF(Saitama Muse Forum)」のロゴマークにカラフルな風車があしらわれているのもこのためです。

この事業は各回とも、入間市博物館・アトリット、うらわ美術館、川口市立アートギャラリー・アトリア、川越市立美術館、埼玉県立近代美術館という県内の公立ミュージアム5館がゆるやかに連携して実行委員会をつくり、実行委員会が文化庁と契約を結んで開催してきました。したがって毎年それぞれの館あるいは館が所在する地域でさまざまなアートプログラムが実施され、爽やかな「アートの風」が入間、浦和、川口、川越、北浦和など県内各地を巡ってきました。

初年度は(風車の野外展示)と(創作ダンス)のコラボレーション、(バスカメラ)の運行など、ベースとなるプログラムは共通でしたが、2年目以降は各ミュージアムや地域の

方々からもいろいろなアイデアを出していただき、地域の文化資源の活用につながるプログラムを重視しておこなってきました。

今年度は、「お茶の博物館」として名高いアトリットで開かれた(方丈庵・(き)がわりの假具で自在の間を楽しむ)や、かつての「キューボラのまち」である川口でアトリアの開放的な空間と鋳物工場の記憶を濃密に宿す場を結んでおこなわれた(夜会)、時代劇のセットといっても通りそうな旧川越織物市場での(交差するまなざし)、さらにうらわ美術館の(多世代交流ワークショップ)など、ユニークな地域の文化資源の活用を視野に入れた企画を実施してきました。また事務局の役割を果たした埼玉県立近代美術館では、オープニング事業の(風の記念日)から、(体感する美術—サウンドアートから)音楽という表現の拡がりとともに(アートボランティア講座)、さらに(SMFラウンドテーブル2010)まで、数多くのアートプログラムが開催されました。

こうした多彩なプログラムの実質的な企画・運営を担っているのはSMFの運営委員・協力委員の方々です。美術のみならず音楽、舞踊、建築、文学、地域活動など、さまざまな分野で活動する方々が埼玉県立近代美術館をキーステーションとして集い、SMFの中核として活躍してくださっています。ミュージアムの中でおこなわれる催しもあれば公園やまちを舞台とするものもありますが、これまでの試みから、アートで「人と人」「人とまち」を結び、ミュージアムをアートのプラットフォームとして機能させることで、大きな可能性が開かれてくるのを深く実感しております。

また今年度の事業では、越谷の「まち

アートプロジェクト」や北本の「おもしろ不動産プロジェクト」など、新しい意欲的なアートの胎動が感じられる地域のフレッシュなアート関係者とも連携を図り、(5750分展II—美術教育は生きているか?)など一部の事業を協働で実現しました。SMFの活動を通じてたくさんの出会いと交流が生まれ、その周辺でさまざまな協働がはじまっています。

こうしてSMFの風たちの物語は次章へと続いていきます。活動基盤を整え着実にその輪を広げて継続を図ることで、「身近な場所でアートを享受し、支援し、再創造するプラットフォームをめざす」この実験的なプロジェクトの稔り豊かな展開が期待されます。引き続き、あたたかいご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

この事業の趣旨を理解し貴重な機会を提供して下さった文化庁をはじめ、惜しみないご協力をいただきました各ミュージアム、大学、団体各位、多くのみなさま方に、心から感謝申し上げます。

平成23年3月

「交差する風・織りなす場」実行委員会委員長
前島富雄

目次

ごあいさつ 風の軌跡—「交差する風・織りなす場」に寄せて	1	@KAWAGUCHI 夜会—「場」から創る	10
SMFアート楽座		@URAWA 多世代交流ワークショップ	12
@KITAURAWA 風の記念日—《芽出るカー》で七色の風に乗ろう	2	@KAWAGOE 交差するまなざし	14
@KOSHIGAYA アートピクニック：越谷再発見!	3	@KITAURAWA 体感する美術—サウンドアートから	16
@KOSHIGAYA/KITAURAWA 5750分展II	4	@KITAURAWA 音楽という表現の拡がりとともに	18
@IRUMA 方丈庵・(き)がわりの假具で自在の間を楽しむ	6	@KITAURAWA SMFラウンドテーブル2010	20
@KITAURAWA アートボランティア講座/アート井戸端かいぎ	8	SMFアート楽座 来場者アンケート概要と参加者の声	22
@KITAMOTO アートピクニック：北本再発見!	9	SMFプレス/委員名簿、連携協力機関・団体、報道記事等一覧	24